

# 北大生協 2009年度 環境報告書



北海道大学生生活協同組合



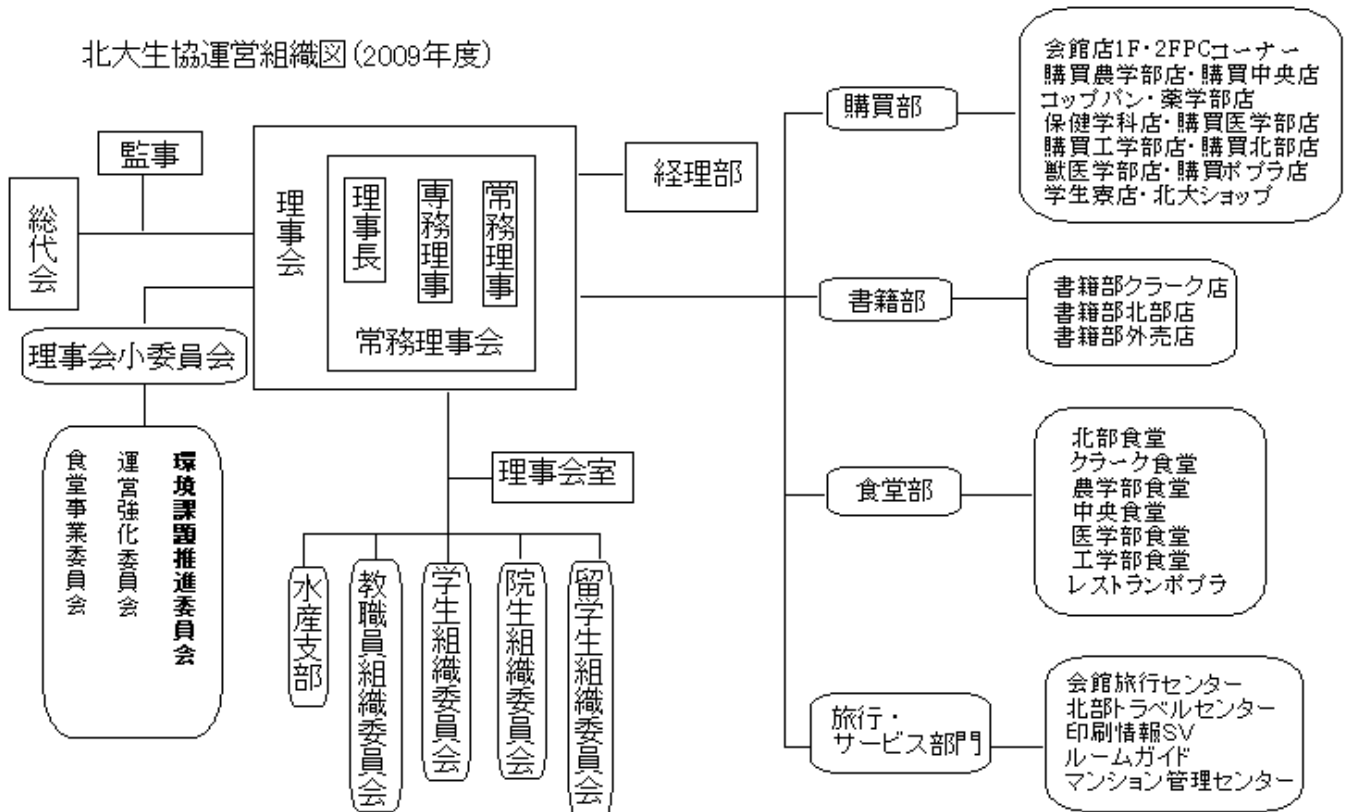
## 目次

北大生協の事業概要	3
専務理事あいさつ	4
環境方針	5
環境実施体制	6
2009 年度の取り組みと課題	7
環境配慮への啓蒙活動	8
省エネルギー・省資源	10
資源の循環利用	12
環境保全	15
組合員の環境活動への支援	17



北大生協の事業概要

北大生協運営組織図(2009年度)



主要数値

項目	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度
組合員数	28,590	29,193	29,610	29,812	29,904
出資金総額(千円)	447,214	452,790	454,560	455,110	450,207
総供給額(千円)	6,530,183	6,504,334	6,342,700	6,245,410	5,854,262
経常剰余(千円)	32,366	25,342	24,897	26,241	40,918
正規職員数	63	61	61	58	51
非正規職員数(正規換算)	195	208	208	218	221

組合員数は増加していますが、出資金総額は昨年に比べて減りました。

部門別供給高(千円)

部門	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度
購買	2,580,945	2,582,035	2,573,305	2,735,554	2,474,952
書籍	994,360	991,757	966,893	930,607	924,317
食堂	659,085	770,083	792,891	1,019,284	805,011
旅行	2,012,828	1,875,766	1,684,456	1,202,969	1,372,580
その他サービス	282,965	284,693	325,155	356,996	277,402
合計	6,530,183	6,504,334	6,342,700	6,245,410	5,854,262

工学部食堂(3月)・中央食堂(12月末~1月初め)・北部食堂(2月中旬~3月)の改修工事、はるにれ食堂閉店(10月~)などで、供給は前年

を下回りました。しかし、ルームガイドの手数料収入や経費節減の結果、経常剰余は大きく上回りました。



## 専務理事挨拶

2009 年度 環境配慮へのとりくみ紹介

2005 年度から行っております「2009 年度 環境配慮へのとりくみ紹介」を今年も作成いたしました。



北海道大学では、今年で 4 年目となります持続可能な社会の実現に向けた“サステナビリティ・ウィーク”の開催を予定して、より良い未来に向けた一歩を探ることとしています。

北大生協は、2005 年 9 月に北海道大学の環境方針が定められたことを受けまして、2005 年 10 月に北海道大学の環境方針に沿い環境負荷の低減と環境保全に努めるために「北大生協環境方針」を決定しました。さらに「環境保全は私たちが行う様々な活動の基礎である」との認識にたち、様々な福利厚生事業を対象に、環境への影響の大きいものについて技術的かつ経済的に可能な範囲において、目的・目標を設定してまいりました。それらに取り組むことによって環境負荷の軽減と汚染の予防をはかり、環境マネジメントシステムの見直しと継続的改善を積極的に進めています。

この間の取り組みをご紹介しますと、2006 年度から行っている 道内産の森林育成につながる割り箸の採用(06 年 10 月から) 食堂から出る廃油の再資源化(06 年 11 月から) 大学内の放置自転車の再資源化(06 年 11 月から) 北大女性研究者支援室に協力したトナー・インクカートリッジの回収(07 年 9 月から) 食堂を中心としたごみ分別強化(07 年 10 月から)などに続き、2009 年度はレジ袋の削減と水道等の使用実績の削減に向けた取り組みなどを行っています。大学内の放置自転車の再資源化の取り組みの状況では、1 年間で 1,510 台の回収を行っています。学内の放置自転車を減らし、リサイクルに関心を持ってもらう活動や大学部局との連携により放置自転車の減少につながる活動を行っています。また、レジ袋の削減に向けた取り組みでは、ポスター・棚 POP 等のお知らせと職員からの声かけ等により、レジ袋は年間で約 4 割強の減少となっています。

今後は、理事会のもとに設置した環境課題推進委員会で、2009 年度の取り組みを踏まえて、引き続き環境課題に取り組んでまいります。

毎年、確実に一步・一步前進していきたいと思っておりますので、引き続きご指導をお願いします。

2010 年 5 月 1 日  
専務理事 中村 伸司



## 環境方針

北大生協は2005年10月24日の第5回理事会において下記の「北大生協環境方針」を決定しました。北大生協は「大学とその構成員への貢献をとおりて大学を発展させる立場」、「北海道大学の福利厚生を担う構内事業者としての立場」、「北海道大学の環境方針及び環境マネジメント実施体制を尊重し環境への負荷低減に努める立場」からこの取り組み紹介を公開いたします。

## 北大生協環境方針

私たち北海道大学生協同組合は、「環境保全は私たちの行う様々な活動の基礎である」との認識にたち、様々な福利厚生事業を対象に、環境への影響の大きいものについて技術的且つ経済的に可能な範囲において、目的・目標を設定します。それらに取り組むことによって環境負荷の軽減と汚染の予防を図り、環境マネジメントシステムの見直しと継続的改善を積極的に進めていきます。

- 1) 北海道大学の環境方針、環境関連の法律、規制、条例及びその他受け入れを決めた事項を遵守します。
- 2) 北海道大学の環境マネジメント実施体制に積極的に参画します。それらの活動に参加する組合員の活動を応援します。
- 3) 生協施設における電気・ガス・水道および紙・包装資材の使用量を抑制するとともに、事業系廃棄物の削減・再資源化に努めます。
- 4) 環境負荷に配慮した商品の開発・改善・普及をすすめます。また「グリーン購入」の取り組みを推進します。
- 5) 学生・院生の環境配慮に関する活動の場をたくさん作り、北大構成員自身による環境活動を広げます。

この環境方針を内外に公開するとともに、環境活動への取り組み状況について定期的に公表します。また方針を具体化していくうえで役職員（理事・監事・組織委員・生協職員）の日々の実践の積み重ねを大切に、全役職員への教育・学習を積極的に行い、さらに学生・教職員を対象とする啓蒙活動と諸活動への参加の呼びかけを行って、環境方針の理解と環境意識の向上を図ります。

2005年10月24日  
北海道大学生協同組合  
第5回理事会

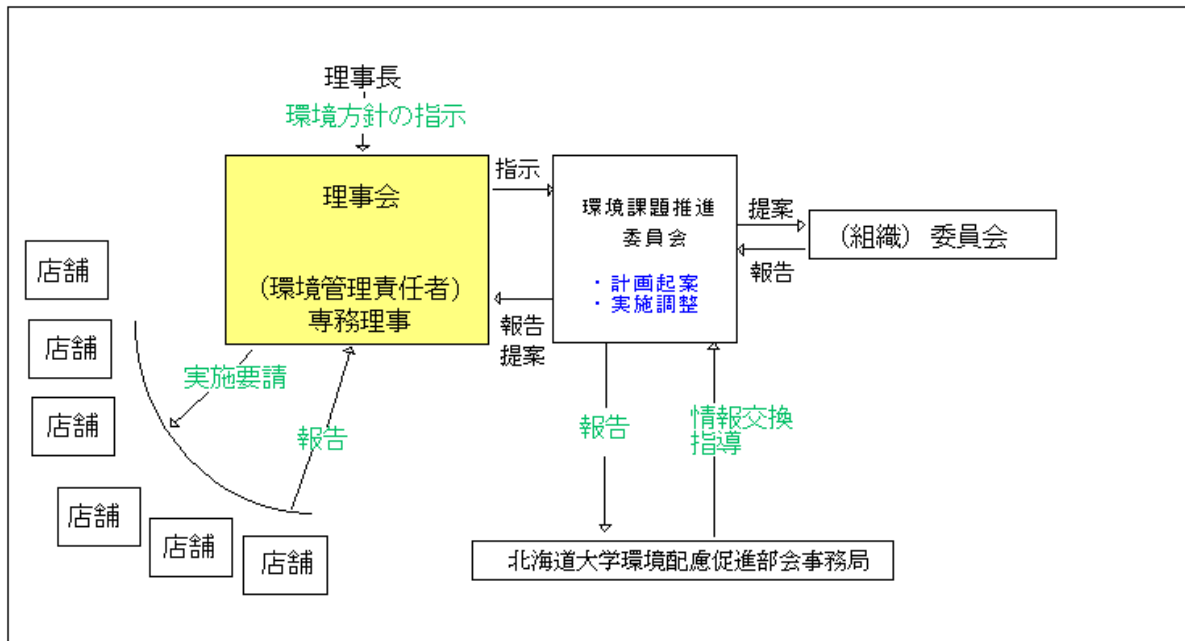
### 《北大生協の3つの使命》

1. 北大生協は、北大の勉学・教育・研究の発展に安心と信頼のサービスで貢献します。
2. 北大生協は、学生・院生の自立・成長と学内構成員の協力・共同の促進に寄与します。
3. 北大生協は、持続的発展可能な地域社会・国際社会の実現に向けて力を尽くします。

北大生協は自らに課した上記「3つの使命」を基本とし環境配慮への取り組みを展開します。



## 環境実施体制



### 2009年度の委員会活動

#### 《メンバー》

委員長 早川（学生）

委員 坂爪（教員）・太田（院生）・萩野（学生）・金谷（学生）・清水（学生）・中川（学生）・小林（学生）  
小倉（学生）・本屋敷（学生）・後藤（事務局）・倉元（学生・地域センター）

#### 《主な活動》

- ・ 6月4日に、第1回環境課題推進委員会を開催しました。その後、夏休みを除きほぼ毎月総計11回の委員会を開催しました。
- ・ 「北大生協の環境課題と目標」を定め、理事会に提出しました。
- ・ 環境科学院藤井先生から「北大内で排出されるごみを堆肥化し、学内の農場で使用するなどして学内循環させる」企画への協力がありました。委員会ではできるだけ協力をすることを確認しました。
- ・ 全国大学生協連主催の環境セミナーに学生2名で参加し、分科会でごみナビについて発表しました。前述の関係で、今年は環境科学院修士課程の院生も5人参加しました。
- ・ 12月4日に、コープさっぽろのエコセンターの見学をしました。
- ・ 12月10～12日に東京国際展示場で開催された「エコプロダクツ2009」で、北大生協の環境の取り組みを紹介しました。（北海道大学として出展していた環境科学院の方のご好意でブースの一部を使わせていただきました。）
- ・ 2009年度環境報告書を作成しました。



2009年度の取り組みと今後の課題

基本方針	環境項目	2009年度の環境目標	取り組み・成果	今後の課題
社会への 貢献	情報公開	5月の総代会に向けて環境報告書を作成します。	上期の環境報告書を作成し、ホームページ上で公開しました。「2009年度環境報告書」を発行しました。	2010年度の環境課題・目標を作成し公開します。
		大学の環境負荷低減の取り組みに積極的に参画し、協力してまいります。	環境科学院の修士の方と交流を持つことができました。	引き続き大学との協力関係を築いていきます。北大内の環境に関心のある団体と連絡を取り合って交流をしていきます。
	地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学祭でごみのナビゲーションを行います</li> <li>・機関紙(きぼうの虹やletter)を通じて、北大生協の環境への取り組みを知らせるなど、組合員に対して環境配慮への意識向上を促していきます。</li> <li>・組合員と一緒に環境について学習する機会に積極的に参加します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学祭で、学生を含めた地域の方々にごみの分別を呼びかけました</li> <li>・コープさっぽろエコセンターを見学し、配送事業や家庭から出たごみがどのようにリサイクルされるのか学びました。</li> <li>・東京で行われたエコプロダクツに参加し、北大生協の取り組みを紹介しました</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機関紙やHPを通じて、環境への取り組みを知らせていきます。</li> <li>・組合員と一緒に環境について学習できる機会を増やします。</li> </ul>
環境負荷 の低減	省エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クールビズやウォームビズに積極的に取り組みます。</li> <li>・エネルギー使用量削減のための方法を検討します。</li> </ul>	クールビズを6月1日から9月30日まで実施しました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年も全店でクールビズに取り組みます。</li> <li>・エネルギー使用量削減を生協職員に呼びかけます。</li> </ul>
	省資源	各店舗のレジ袋使用率を把握して、よりいっそうの削減に取り組みます。	3ヶ月ごとの各店舗のレジ袋使用率をHP上で公開しました。各店舗の店長とも削減について話し合いました。	引き続き使用率を計測・公開し、削減に努めます。
	資源の循環利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみのリサイクル率を各店舗に報告して、よりいっそうの削減に努めます。</li> <li>・トナーカートリッジや廃油などを回収していることを多くの組合員に知らせていきます。</li> </ul>	生ごみの分別が始まって2年目になりましたが、資源化の分別はあまりすすんでいません。	生ごみの分別を強めることで、全体の資源化の比率を上げていきます。各店長と、削減のための方策について話し合う機会を設けます。
	グリーン購入法	大学のグリーン購入に応えられるよう、店頭での適合商品案内や適合品の比率向上に努めます。学習会をします。	今年も何もできませんでした。	グリーン購入法の知識を深めるための学習会をします。
	環境保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>食堂の排水浄化のために、日常管理を食堂に提案します。年2回の水質検査を行い、店舗と問題点を話し合います。</li> <li>学内の放置自転車を減らし、リサイクルに関心を持ってもらう働きかけをします。北大生協が無料で放置自転車を回収しリサイクルをしていることを学内に広く知らせます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水質検査は年1回しかできませんでした。</li> <li>・店長と話し合い、日常の清掃を強化しました。</li> </ul>	引き続き、日常管理を強めて、排水浄化に努めます。具体的な方策について、提案していきます。
			大学内からの引取りの依頼は12学部1,283台と、昨年より若干増えました。	学内に自転車を放置しないよう組合員に呼びかけるとともに、大学部局との連携を密にして放置自転車の減少に努めます。



## 環境配慮への啓蒙活動

北大生協では、組合員の方々に環境問題への意識を持ってもらうことを目的として、生協店舗や組織委員会の活動で環境問題への啓蒙活動を行っています。生協の活動に触れることで、少しでも地球環境や美しいキャンパスについて考えてもらえるよう、さまざまな機会に呼びかけを行ってきました。

今年の活動を、写真を交えて紹介します。

### 大学祭での「ごみナビゲーション」

6月上旬の北大祭で8回目の「ごみナビゲーション」を行いました。「キレイな北大祭を楽しんで、ごみ問題に興味を持って考えてもらおう！」という思いのもと、学生委員会が企画したこの活動では、多くの来場者に北大祭内に設置されたごみ箱で分別を呼びかけました。

ごみ箱を色で分けて、ごみの分別をわかりやすくしたり、留学生用に様々な言語で分別の表示を行ったりすることで、幅広い方々にごみ分別の大切さ、具体的な方法を伝えることができました。また、環境に優しい容器(リリパック・バイオマスプラスチックカップ)の説明についても、立て看板を作り、知識を得てもらいました。



### おかげさまで6年目 「ごみナビジャーショー」!!

生協学生委員が北大祭をキレイに守る「ごみナビジャー」に変身し、ごみ分別の大切さを伝える「ごみナビジャーショー」が今年も行われました。

悪天候が続いたため2回しか公演できませんでしたが、子供から大人まで多くの方にごみ分別について、楽しく知ってもらえることができました。



### エコセンター見学会

2009年12月4日に「コープさっぽろエコセンター」見学会を行いました。参加者は学生委員会から5名、院生委員会1名、教職員組織委員会1名、生協職員1名の計8名でした。

この施設では、コープさっぽろ店舗や宅配システムで生じるリサイクル処理が可能な特定の廃棄物を中間処理しています。収集システムが特徴的で、同市内にあるコープさっぽろの集配センターの流通システムに乗るかたちで廃棄物の収集が行われるため、新たな輸送コストがほとんど発生しないそうです。現時点では経過は順調とのこと。地域生協だから可能なシステムであることを痛感した見学会でした。





組織委員会発行の機関紙内での情報提供

各組織委員会で発行している機関紙の中で、環境課題に関することを取り上げました。  
各記事の中で、組合員の方々への情報提供と、環境問題について考えることを提案しています。

『letter』(学生向け機関誌)

2009年初夏号 letter de しゃべり場  
ごみ問題について  
～北大祭での分別と札幌の回収有料化から考える～  
2009年夏号 letter de しゃべり場  
ごみ問題について  
～読者の意見交流・北大生協の取り組み紹介～

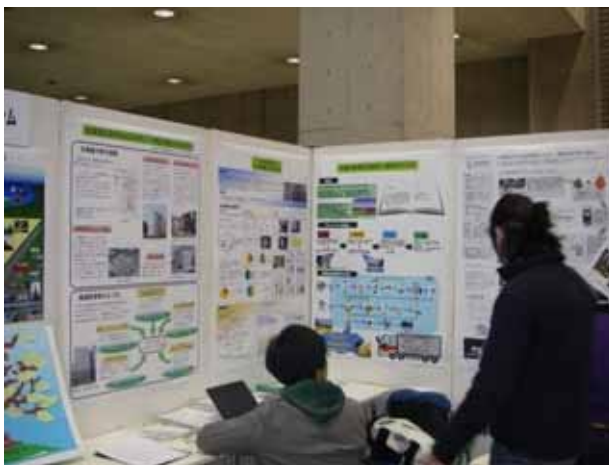


『きぼうの虹』(院生・教職員向け機関紙)

2009年3月1日発行 第321号  
食品リサイクル工場見学記  
(北大生協の生ごみの処理先の見学について)  
2009年11月1日発行 第325号  
地球規模で民主主義の実験  
(温暖化をテーマに世界44か所で市民会議が開かれたことについて)  
2010年1月1日発行 第326号  
自然と人間社会との共生をめざして  
(ジオパークの取り組みについて)  
エコセンター見学会報告  
(環境課題推進委員会の企画による「コープさっぽろエコセンター」見学会について)

エコプロダクツ 2009

12月10日～12日に行われた環境展示会「エコプロダクツ 2009」(東京国際展示場)に、北海道大学として環境科学院の方が出展しました。その一部をお借りして北大生協の環境の取り組みを紹介させていただき、学生委員から2名が参加しました。たくさんの企業や自治体、大学やNPOなどが出展し、さまざまな立場からどのような取り組みができるのか、またどう連携を取っていくことができるのか、考える機会となりました。また、他大学の学生とも交流を持つ機会となりました。





## 省エネ・省資源

### レジ袋使用量

北大生協では 2007 年 10 月からレジ袋削減に取り組んでいます。昨年度大幅に使用率を削減できたため、今年度も職員の声掛けを中心に『使用率：北部店 10%以内、その他店舗 15%以内』を目標にしました。

毎月(学部店では3ヶ月に1回)の計測では数値が安定してきているため、これ以上の大幅な削減は難しいかもしれませんが、この数値を元に戻さないための取り組みを続けていく必要があります。

### 各購買におけるレジ袋使用枚数と削減率

店舗名	08年度	09年度	前年比
会館店1階	139,300	87,700	63.0%
購買北部店	62,500	63,500	101.6%
購買工学部店	110,000	32,700	29.7%
購買中央店	100,700	62,100	61.7%
薬学部店	21,300	9,300	43.7%
保健学科店	3,300	7,300	221.2%
獣医学部店	21,000	8,000	38.1%
水産購買書籍店	2,000	4,000	200.0%
農学部店	20,400	6,300	30.9%
医学部店	33,400	10,600	31.7%
合計(枚)	513,900	291,500	56.7%

学生寮店、ポプラ店、コップパンは除く。購買部のみ

### 電気使用量

店舗名	09年度
会館店	478,280
会館融雪	1,628
北部店	357,392
工学部店	164,997
中央店	242,435
薬学部店	19,761
保健学科店	24,467
獣医学部店	24,876
学生寮店	4,795
クラーク会館	179,176
農学部店	58,020
医学部店	108,340
ポプラ店	52,450
はるにれ	40,239
その他自販機	127,595
合計(kwh)	1,884,451

昨冬は雪が少なかったこともあり、会館融雪に要した電力量が少なめになっています。また、昨年度に比較して会館店の使用量が全体に占める割合は減少しています。

また、今年度も昨年度に引き続き、6月～9月にかけて大学に合わせて全店で COOLBiz に取り組みました。昨年同様、「ノーネクタイの軽装で、エアコンの設定温度を 28 度より下げない」ことを基本に、各店舗で取り組む課題を提出し、期間終了後は店舗ごとに見直しをしてもらいました。

昨年度の環境報告書での数値の算出は、大学より請求される電気料金からの逆算で行っておりましたが、算出に用いた数値が誤っていたため正確なデータではありませんでした。そのため、今年度の環境報告書では昨年度との比較を行っておりません。今年度より直接使用量を把握できるようになりましたので、来年度以降は正確な数値で公表・比較します。

はるにれは 10 月に営業終了。左記電力量は、各エリアの自販機を含む。

### ガス使用量

	08年度	09年度	前年比
北部食堂	112,056	102,932	91.9%
工学部食堂	13,863	24,129	174.1%
中央食堂	52,230	47,849	91.6%
クラーク食堂	37,786	38,503	101.9%
農学部食堂	7,242	5,666	78.2%
医学部食堂	20,405	19,521	95.7%
ポプラ	1,438	5,852	407.0%
はるにれ	16,220	8,042	49.6%
合計(立方m)	261,240	252,494	96.7%

ポプラ店は 2008 年 10 月からの営業開始、はるにれ食堂は 2009 年 10 月で閉店、北部・中央・工学部の各食堂も改装閉店のため数値に影響が出ています。

全体的に前年並みかやや少なめになっておりますが、客数も減っているため、単位客数あたりの使用量として、節約とは言い切れないのが現状です。

ガスは店舗ごとに北ガスと北大から供給を受けています。

工学部食堂は 08 年度は LP ガスを使用していましたが、09 年度の新装オープンより都市ガスに切り替わっています。



### ガソリン・軽油・重油使用量

	2006	2007	2008	2009
ガソリン(ℓ)	8,411	8,972	8,664	8,885
軽油(ℓ)	3,443	2,314	2,705	1,760
重油(ℓ)	25,000	24,084	18,000	14,000
軽自動車(台)	32	32	31	33
ワゴン車(台)	6	5	4	3

ガソリンは33台の営業車(軽自動車)で使われています。台数が増えたぶん、使用量も微増でした。逆に軽油はワゴン車が1台減り、使用量も減っています。重油は会館店の暖房用ボイラーに使用されていますが、ここ数年は暖冬のため、大幅に減少しています。

### 紙の再資源化

不要になった書類・新聞・雑誌などは各事務に回収BOXを用意したり、学内3ヶ所の回収BOXに組合員さんに入れていただいたりして再資源化できるようにしております。また牛乳パックは、学内3ヶ所(会館店1階・中央店1階・北部店2階)にある回収BOXに組合員の皆さんから入れていただいています。回収量は漸減傾向です。

店舗	08年度	09年度
会館店	22.44	19.65
北部店	13.8	12.7
工学部店	2.61	2.46
中央店	8.46	11
印刷情報	36.67	35.57
農学部店	2.16	1.46
はるにれ	2.14	0
合計(t)	86.14	82.84

### 水道使用量

	08年度	09年度	前年比
会館店	980	807	82.3%
北部食堂	8,413	8,089	96.1%
中央食堂	7,591	7,015	92.4%
クラーク食堂	2,372	3,026	127.6%
農学部食堂	943	738	78.3%
医学部食堂	1,804	1,953	108.3%
はるにれ	1,421	784	55.2%
合計(立方m)	23,524	22,412	95.3%

はるにれ食堂は2009年10月で閉店、北部・中央の各食堂も改装閉店のため数値に影響が出ています。

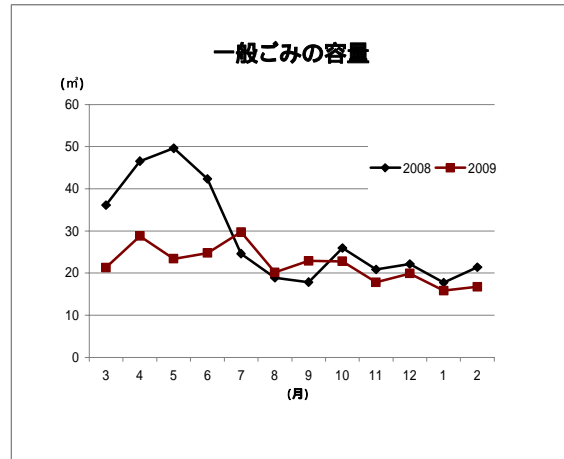
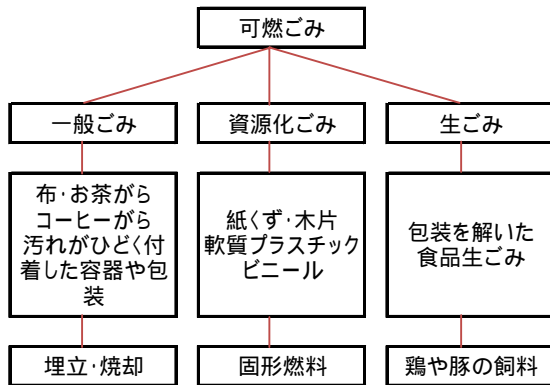
蛇口を絞って流量を少なくするなどの取り組みを行ったこともあり、概ね前年並みかそれ以下になっていますが、クラーク食堂など客数に比して使用量が多い店舗での調査が必要です。



## 資源の循環利用

### 北大生協のごみの分別状況

北大生協では2008年6月より一般ごみに含まれていた生ごみの分別を始めました。売れ残ったお弁当などを資源化ごみと生ごみに分別しています。これによりリサイクル率は上昇し、2009年度も高い水準でリサイクル率を保つことができました。



### 主要店舗のリサイクル率 (2008、2009年度)

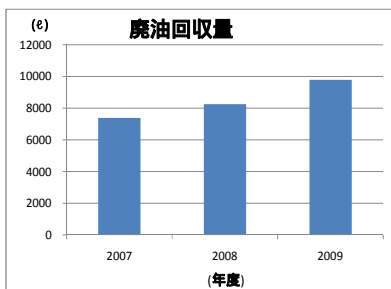
2008	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	T
会館・クレーク	87.57%	85.00%	83.69%	83.17%	85.52%	89.50%	92.07%	89.14%	91.94%	90.18%	92.20%	93.43%	88.49%
北部	54.07%	49.19%	40.43%	61.34%	92.37%	91.16%	84.25%	81.74%	84.67%	77.28%	86.60%	72.31%	70.84%
中央	47.74%	52.74%	48.15%	58.10%	90.60%	87.03%	89.01%	88.96%	89.18%	90.40%	93.24%	89.63%	76.81%
工学	76.86%	83.21%	80.28%	80.94%	99.14%	91.97%	95.11%	90.95%	91.91%	100.00%			88.05%
合計	63.32%	60.10%	54.03%	60.61%	77.62%	78.56%	80.57%	76.86%	79.06%	74.34%	78.68%	74.93%	71.02%
2009	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	T
会館・クレーク	91.26%	88.26%	91.24%	90.87%	90.24%	90.83%	88.59%	91.86%	90.28%	90.54%	91.51%	92.23%	90.62%
北部店	79.66%	79.58%	74.73%	80.25%	73.37%	80.24%	75.84%	75.40%	80.59%	65.70%	76.24%	78.71%	76.63%
中央店	89.77%	87.91%	86.09%	84.68%	88.98%	83.29%	80.99%	87.08%	86.17%	84.45%	82.79%	83.62%	85.82%
工学部店		66.30%	79.58%	72.69%	65.26%	73.50%	64.93%	67.48%	69.47%	71.45%	73.83%	66.61%	70.11%
合計	70.28%	64.34%	65.03%	66.41%	60.21%	63.06%	57.48%	64.76%	66.34%	63.24%	64.77%	66.67%	64.49%

### 食堂廃油のBDF化

食堂で使われた揚げ物用の油（植物油）はすべて回収し、BDF（Bio Diesel Fuel）の原料としています。BDFは軽油と比較して環境負荷が非常に少なく、カーボンニュートラルの特徴を持つため、環境・健康に優しいエネルギーとして注目されています。

BDFは、主に札幌市の公用車（ごみ運搬車など）に利用されています。

BDFのカーボンニュートラル：BDFを燃やせばCO<sub>2</sub>を排出するが、原料である植物が生育の過程でCO<sub>2</sub>を吸収しているため、大気中のCO<sub>2</sub>を増加させないという考え。



BDFができるまで



### 国産間伐材割り箸の使用

北大生協の食堂で使用している割り箸は全て、持続可能な森林管理の行われている北海道下川町の FSC 認証林から産出している間伐材で作られています。日本の森林全体の約 40%を占める人工林は間伐をしなければ丈夫な木が育たず荒廃します。間伐材とは、この間伐された木材のことです。間伐材割り箸を利用することは、安定的に間伐材需要を増加させて、日本の森林の育成に協力することになります。

食堂では、カーボン箸と割り箸の 2 種類を選択してご利用できるようになっています。



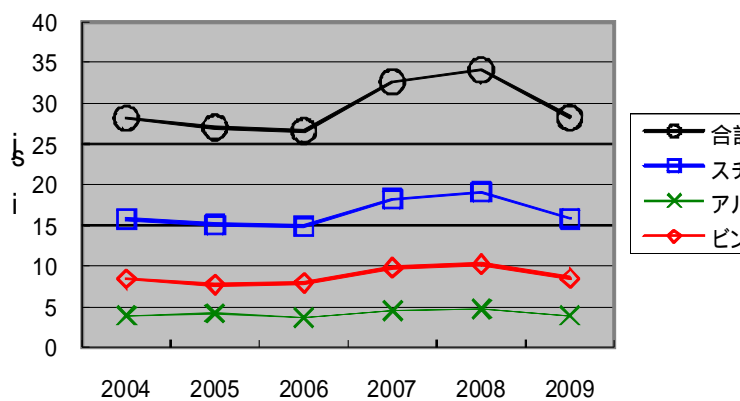
FSC 認証は、森林の管理認証 (FM 認証) と加工・流通過程の管理認証 (CoC 認証) からなっています。

### ビン・缶・ペットボトルの再資源化

札幌キャンパス内の自動販売機に備えてある空き缶入れからビン・缶・ペットボトルをリサイクル業者に回収してもらっています。回収された資源は右のように再資源化されます。



ビン・缶の回収総重量



### 産業廃棄物

食堂で使用している調味料などの廃プラスチックボトルや食材の入っていた発泡スチロール、商品購入に関わり不用になった PC や家電家具は、産業廃棄物として定期的に回収されています。

09 年度のエリアごとの回収内容)

品名	単位	会館店	農学部	中央店	工学部店	医学部店	北部店	はるにれ
産廃混合	m <sup>3</sup>	2.1	3.4	10.7	6.6	4	14.8	3.3
廃プラ混合廃棄物	kg	16		195	0		735	247.5
廃プラスチック類	m <sup>3</sup>	0.4		1.5	0	0.1	2.8	1.6
金属くず	m <sup>3</sup>	0.8		0.85	0	0.1	2	9.3
廃蛍光管	本	62		67	0		31	7
廃プラスチック類・発泡	m <sup>3</sup>	12.2		7.4	3.2	2.3	6.9	0.9
廃乾電池	kg	144			65		24	
金属混合廃棄物	kg			42			19	
廃OA機器 周辺機器	台	14					4	
廃ノートブックPC	台	5		1			1	
廃電球	kg			2			4	



### 使用済みトナーカートリッジの回収

2007年9月から始まった使用済みトナーカートリッジの回収も足掛け4年目を迎え、順調に推移しています。

北大女性研究者支援室では、ベルマーク活動で集めた点数で理科用品を購入し、希望する学校に寄贈する取り組みを行っています。2009年春には、札幌旭ヶ丘高校など4校にアクアリウムや浸透圧実験器などが寄贈されました。エプソンとキャノンが使用済みプリンタートナーやカートリッジのリサイクルを促進するためベルマークに協賛し、回収送付した団体にベルマーク点数を付与する制度を利用しています。

生協店舗内に回収BOXを設置するほか、訪問回収イベントや学部のロビーに一定期間回収BOXを設置させていただくなどの活動を行っています。回収したカートリッジは生協で保管・分別・梱包発送を行っています。

年	月	キャノン		エプソン		合計	
		本数	点数	本数	点数	本数	点数
2008年	1月	863	7,150	659	10,450	1,522	17,600
	2月	143	3,235	574	6,245	717	9,480
	3月	0	0	106	5,300	106	5,300
	4月	421	10,835	826	9,350	1,247	20,185
	5月	167	8,350	97	4,850	264	13,200
	6月	1,352	9,100	1,297	10,850	2,649	19,950
	7月	93	4,650	272	4,600	365	9,250
	8月	621	8,550	521	8,050	1,142	16,600
	9月	501	7,050	443	6,400	944	13,450
	10月	568	8,150	480	8,250	1,048	16,400
	11月	424	7,700	471	7,800	895	15,500
	12月	382	5,600	466	5,300	848	10,900
2009年	1月	424	7,700	471	7,800	895	15,500
	2月	518	7,900	842	8,350	1,360	16,250
	3月	204	5,430	364	6,950	568	12,380
	4月	1,052	16,600	1,060	14,165	2,112	30,765
	5月	263	4,150	385	5,750	648	9,900
	6月	415	7,250	609	9,075	1,024	16,325
	7月	441	7,560	525	7,350	966	14,910
	8月	630	9,000	490	8,750	1,120	17,750
	9月	281	5,050	585	6,750	866	11,800
	10月	520	8,000	488	7,930	1,008	15,930
	11月	413	8,050	448	6,650	861	14,700
	12月	406	6,800	422	6,700	828	13,500
2010年	1月	433	8,150	533	8,650	966	16,800
	2月	479	6,850	633	7,800	1,112	14,650
	3月	420	9,750	494	6,700	914	16,450
	4月	646	9,800	653	10,150	1,299	19,950
合計		13,080	208,410	15,214	216,965	28,294	425,375



ブラザーの森



ブラザー社員による植樹風景  
当日はブラザー社内でもエコ活動分の植樹が行われました。

また、ブラザーでは、回収した使用済みトナーカートリッジなどにエコポイントを付与し、ポイント数に応じた植樹活動を行っています。北大生協ではこの活動に賛同し、2010年3月から運動に参加しています。現在のところ北大生協のポイントは、まだ植樹1本分くらいですが、いつか森になることを願って、組合員の皆さんと一緒に活動を続けていきます。



## 環境保全

### グリーン適合商品の優先供給



平成13年4月から、グリーン購入法（国等による環境物品等の調達に関する法律）が施行されました。この法律は、国等の機関にグリーン購入を義務づけるとともに、地方公共団体や事業者・国民にもグリーン購入に努めることを求めています。

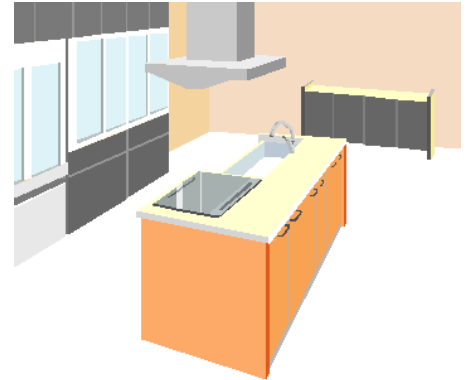
大学生協では、グリーン購入法適合商品優先購入のお手伝いになるよう、文具のプライスカードやお買い上げレシートに適合商品マークを表示させています。



### 食堂排水の管理

各食堂に設けられているグリストラップは、厨房・その他の調理場から排出される排水中に含まれる油脂を分解・捕集するために設置されています。設置することによって、排水に含まれる油脂分を、直接下水道や浄化槽に流さない役割をしています。また、排水管中に油脂が流出して管が詰まることを防止しています。グリストラップには生ごみや油脂が蓄積されますので、食堂では毎日職員が気泡によって浮かび上がるスカムと呼ばれる汚泥などを取り除く作業を行っています。

毎日清掃していても、放っておきますとグリストラップ内では雑菌や臭いが発生するため、オゾン分解装置を取り付けて、油分を分解させ排水を浄化しています。北大生協の食堂では、クラーク食堂、農学部食堂、中央食堂、医学部食堂、工学部食堂でオゾン発生装置を取り付けていて、毎日の清掃がきちんと行われていれば、汚泥・汚水の引き抜きや清掃は殆ど必要ありません（工学部食堂は1階に設けられた雑排槽の清掃が必要です）。北部食堂とレストランポプラはオゾン分解装置がついていませんので、1年に1回～2回のグリストラップ清掃が必要です。



水質検査は年に1回清掃後に行っています。

### 不要自転車・放置自転車の回収とリサイクル自転車販売

北大構内では毎年1,000台以上の放置自転車が発生しています。北大生協では、放置自転車を少しでも防ぐために、卒業生などから不要になった自転車を無償でいただき、安全に乗れるよう整備して販売しています。また、大学部局からご連絡をいただいて、放置自転車を引き取っています。

#### 不要自転車の受付の流れ

- ・ 組合員が生協会館店に自転車を持参し、自動車防犯登録抹消届書を記入します。
- ・ 店舗では自転車を預かり、会館前の保管場所に移動します。
- ・ 取引先の中古自転車販売店が定期的に自転車を引き取り、使える備品を組み合わせで整備して中古自転車として再生し会館店で販売します。

#### 放置自転車の引き取りの流れ

- ・ 大学部局は、放置自転車の車体番号、防犯登録番号を警察に届け、盗難届の有無を確認します。
- ・ 盗難届の出していない自転車に警告文書を付けて、3ヶ月以上経った物について、北大生協に連絡をいただき中古自転車販売店が引き取ります。
- ・ 後の流れは前項と同じです。



2009年度	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	計
組合員	107	38	16	15	10	8	6	4	5	8	3	7	227
大学計	230	17	100	0	81	604	132	0	119	0	0	0	1,283
合計	337	55	116	15	91	612	138	4	124	8	3	7	1,510
09年度 大学計の内訳													
情報基盤			4										4
図書館							46						46
歯学部		17											17
高教センター	185		68										253
学務部								119					119
保健学科							23						23
法学部					37								37
農学部			28										28
恵迪寮					81								81
工学部						545							545
創成棟							63						63
生協会館前						22							22
中央食堂横	45												45



**不要自転車 引き取ります!**

～不要な自転車は生協が無償で引き取ります～

- 卒業や買い換えなどで、ご不要となった自転車は不法に投棄せず生協へお譲りください。
- 生協では使える自転車を整備し直してリサイクル自転車として活用いたします。
- 使えない自転車も無償でお引き受けて、生協で正式に処分いたします。

お申し込みは 北大生協会館前1Fカウンター  
又は3F理事会室へお越しください。

**【自転車の放置禁止】**

- 生協会館前はお買いものための駐輪と、リサイクル自転車の一時保管場所となっております。それ以外の駐輪は害々お断りいたします。
- 以下の行為を禁止いたします
  1. 生協会館に用のないときの日中の放置
  2. 週末・長期休暇などによる長期放置
  3. 夜間の放置
- 上記行為の場合、該当自転車を別の場所へ移動する事があります。保管に費用がかかる場合は自転車所有者にご負担いただきます。

北海道大学生生活協同組合

2009年度は、新たに農学部、恵迪寮、工学部、創成棟から自転車回収のご依頼をいただきました。今後も北大構内の放置自転車をなくすために、ポスターで組合員に呼びかけるとともに学部への働きかけをしていきます。

組合員に呼びかけるポスター



生協会館前





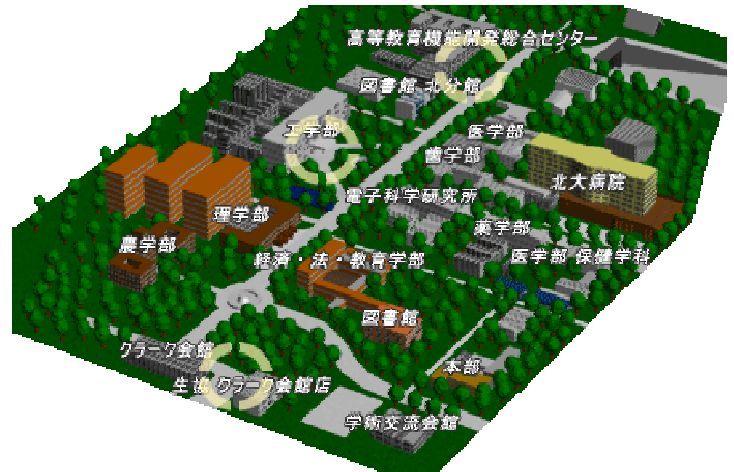
## 組合員の環境活動への支援

### 北大自転車 MOTTAINAI プロジェクト

2008 年度に引き続き 2009 年 9 月 1 日から 2009 年 11 月 30 日まで、北大構内において乗り捨て型 レンタサイクルシェアリングシステムの社会実験「北大自転車 MOTTAINAI プロジェクト」が実施されました。北大生協では、自転車の整備や購入の手配と生協会館店前ステーションの整理のお手伝いをさせていただきました。

2009 年度は、不正利用を防ぐため有料化したこともあって、昨年度の会員登録数 44 名から 26 名に減少し、伴って利用数も 449 件から 224 件に減少しました。

ようこそ mc<sup>2</sup> へ !!



3ヶ所のステーション

プロジェクトの主要なメンバーが卒業されたため、次年度の活動については未定ようですが、実施されるのであれば北大生協では引き続き協力していきます。

## 北大内の生ごみリサイクル

北大の環境科学院の藤井先生から「北大内で排出される生ごみを堆肥化し、学内の農場で使用するなどして学内循環させる」企画への協力をお願いされました。

### プロジェクト名

「少年よ、堆肥を抱け！」(仮)

### 概要

北大内で発生する生ごみを学内で堆肥化し、出来上がった堆肥を学内の農場で使うなどして学内循環させる。学内から出る生ごみ全量の堆肥化を長期的な最終目的とするが、まずは実験的に小規模で行う。北大生協では必要な生ごみを提供します。

堆肥化を行う場所を探していましたが、農場のビニールハウスで小規模に実験を開始します。当初は3月1日から開始の予定でしたが、生ごみと混ぜ合わせるかんなくずの含水率が高いため乾燥が必要とのことで延期になりました。2010 年度に実施の予定です。

### ecoeco Reuse (旧：大学リユース市協議会)

2009 年春まで 5 回のリユースフェアを開催してきた ecoeco Reuse は、スタッフの不足などにより残念ながら活動を休止しています。



発行：北海道大学生協同組合  
編集：北大生協常務理事会  
北大生協環境課題推進委員会

060-0808 札幌市北区北8条西7丁目  
Tel : 011-746-6218  
Mail: seikyou@coop.hokudai.ac.jp